



共同獣医学部 学術セミナー

演題: 変化し続ける環境と生物種とのつながりを探る

講師: Ishara Uhanie PERERA (イシャラ ヨハニ ペレラ), Ph.D. (Life Sci.),

広島大学 IDEC国際連携機構 特任助教

日時: 2024年 6月 4日 (火) 16:00-17:00

場所: 獣医学研究科棟 4F 大講義室

要旨: 湖の深さは、そこに生息する生物群集にどのような影響を与えるのだろうか?なぜある場所には他の場所よりも多くの生物種が生息しているのだろうか?自然界にはどのような競争があり、どの種の間で競争があるのだろうか?生態学者は、これらの疑問や種々の空間的・時間的勾配に生息する、実際に相互作用している、あるいは潜在的に相互作用している生物種についての疑問に答えようとしている。なかでも重要な課題は、自然および人為的な原因による生物種の時間的変化を定量化し予測することである。

本セミナーでは、淡水環境からバイオエアロゾルまで、さまざまな環境で実施されたケーススタディにスポットを当てて解説する。ここでは、季節性変化を検出し、種の時間的安定性を定量化するための指標としてのベータ多様性の重要性、種の相互作用の検出、水環境における経験的ダイナミックモデリングアプローチを活用した有害赤潮発生種の予測におけるベータ多様性の利用方法について議論する。そして、このような生態学的モデリングを水環境から大気環境へと拡大し、バイオエアロゾル粒子の時間的パターンに環境パラメータの変化がどのような影響を与えるかを示す。これらの例を通じて、One Welfareアプローチに向けた獣医学および環境科学におけるデータ駆動型アプローチの変革の可能性を議論できればと考えている。

連絡先: 佐藤 宏 (5902)